

有限会社ティー・エヌ・エス（千葉県事業承継・引継ぎ支援センター）

取引先（同業者）との間で成約した第三者承継

基本情報

相談企業：有限会社ティー・エヌ・エス（成田市）
譲渡者：黒岩 宣明（代取）
譲受者：株式会社ミツクル
種別：第三者

承継方法：株式譲渡
引継ぎ期間：2023年11月～2025年12月
対応方針：三次対応
取扱：公表可

相談企業の概要

- 譲渡側である有限会社ティー・エヌ・エスは、平成4年創業の成田市を拠点する主に内装工事を行う建設業者。
- 取引先は地元の中堅建設業者や不動産業者であり、事業エリアは成田市を中心にその近隣市町村となっている。
- これまでに培ってきた大工や管工事など様々な外注先とのネットワークを活かし、内装工事から水廻り、ハウスクリーニングまで幅広い業務に対応しており取引先からは高い評価を受けている。



譲渡側の黒岩宣明氏（右側）と譲受側の(株)ミツクルの小川祐一氏(左側)

相談までの経緯

- 経営者である黒岩宣明氏は創業以来、確かな技術力と丁寧な仕事を経営理念に業務に真摯に取り組んできており業績は着実に成長しつつ無借金経営を維持してきている。
- こうした中、自身の高齢化に加え親族内に事業を任せられる後継者が不在であったため将来に不安を抱いていたところ、当センターからのダイレクトメールを見てセンターの支援内容を知り相談に至った。



譲渡側の事務所にて調印式

センターの支援内容とその効果

- 当センターからは全国のセンター登録のデータを活用してニーズに合う譲渡先を探索し複数社とトップ面談に進むも、最終的に既存取引先との関係や従業員の意向等を考慮し、合意までには至らず見送りが続いていた。
- そこで、当センターから信頼のおける取引先にも声掛けするよう助言し、これを見て取引先の一つである同業者の株式会社ミツクルに声掛けしたところ、堅実な経営に関心を示され当センター職員同席のもとトップ面談を実施。
- その後、交渉を重ね株式譲渡の方向で合意し令和7年7月に基本合意書を締結。同年12月に株式譲渡契約書の締結及びクロージングが行われた。顧客引継ぎと従業員の雇用が維持され、両社にとって有意義なM&Aが成立した。



譲渡側の事務所外観